

浦島伝説

令和7年12月12日

第 29 号



未来は、今の学びが「つくる」 ～偉人たちの言葉に学ぶ～



3年生は受験本番を控え、大変な時期を迎えていらっしゃるでしょう。また、1・2年生の皆さんも、日々の学習で「なぜ勉強しなくてはいけないのだろう?」と感じことがあるかもしれません。しかし、「学ぶこと」は、皆さんの未来を明るく、豊かにするための最強のツールです。今、苦しいと感じるその努力も、必ず将来の自分を支える力となります。

3年生へ：努力は決して裏切らない

受験という大きな壁を前に、不安になったり、モチベーションが下がったりすることもあるでしょう。しかし、今の努力は、目前の成績だけではなく、一生ものの財産になることを忘れないでください。

プロ野球選手として数々の偉業を成し遂げたイチローさんは、こう言っています。

「小さいことを積み重ねることが、どんなところへ行くただ一つの道だ。」

受験勉強は、まさにこの「小さなことの積み重ね」です。毎日コツコツと英単語を覚えること、苦手な数学の問題に粘り強く取り組むこと。その一つ一つが、大きな合格という成果、そしてその先の自信につながります。

苦しいときこそ、パナソニックの創業者である松下幸之助の言葉を思い出してください。

「一方は『これで十分だ』と考えるが、もう一方は『まだ足りないかもしれない』と考える。」

「そうしたいわば紙一枚の差が、大きな成果の違いを生む。」

この「紙一枚の差」を埋めるための努力こそが、皆さんの未来の可能性を広げ、本当に望む進路を勝ち取る力になります。最後まで、自分に厳しく、粘り強く挑み続けてください。



1・2年生へ：『学ぶ』ことがくれる3つの力

受験がまだ先だからといって、今の勉強をおろそかにしてはいけません。学校で学ぶことは、皆さんのが大人になったとき、社会を生き抜くための基礎体力そのものです。

I. 自分で考える力

現代は、情報があふれる時代です。その中で惑わされず、自分自身で正しい判断を下す力が求められます。ノーベル物理学賞を受賞したアルベルト・aignシュタインは、学びの本質をこう捉えていました。

「学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる。」

数学の証明問題、歴史の背景考察、理科の実験...。学校での学びは、答えを覚えることではなく、「なぜ?」と疑問を持ち、論理的に思考するプロセスを鍛えています。この力が、皆さんの人生の「羅針盤」となるのです。

2. 変化に適応する力

世界は常に変わり続けています。AI技術の進化、新しい社会問題の発生など、未来は予測できません。イギリスの有名な経営思想家チャールズ・ダーウィンは、進化論の中でこう述べています。

「生き残る種というのは、最も強いものでもなければ、最も知能の高いものでもない。変わりゆく環境に最も適応できる種が生き残るのである。」

ここでいう「適応力」こそが、「学び続ける姿勢」です。新しい知識やスキルを抵抗なく身につける柔軟な姿勢は、今の学習を通じて養われます。学びをやめたとき、人は成長を止め、変化に取り残されてしまいます。

3. 誰にも盗られない財産

「努力して得たものは、誰にも奪われない」という言葉があります。ジャーナリストの池上彰さんは、この学びの価値を次のように表現しています。

「学びとは、決して人に盗られることのない財産です。」

ブランド品やお金は失うことがあっても、一度身につけた知識、考える力、そして努力の経験は、生涯にわたって皆さんを支え続けます。

最後に

今、皆さんのが取り組む学習は、すべて未来の皆さん自身への「投資」です。アップルの創業者スティーブ・ジョブズは、こう言いました。

「旅の過程にこそ価値がある。」

受験というゴールを目指す3年生も、日々の成長を楽しむ1・2年生も、この「学ぶ旅の過程」を大切にしてください。つまずいても、失敗しても、そこから学んで立ち上がり、一歩ずつ進み続ける限り、皆さんの未来は無限に広がっています。今の頑張りは、必ず、将来の「なりたい自分」を連れてきます。

全校生の皆さん、応援しています!

